

## 6. 情報発信・情報提供の推進

### 6.1 イベント開催

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを広く中小企業や都民に紹介するために、施設公開や講演会などを開催した。

#### 6.1.1 TIRI クロスミーティング

都産技研の技術シーズや研究成果を発信する「TIRI クロスミーティング」を2020年9月10・11日に開催した。2020年度は来所とライブ配信視聴（オンライン）の2種類の参加方法による開催とした。都産技研だけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関からの発表などを行った。2日間で基調講演を2テーマ、口頭発表を70テーマ実施し、来所者延べ111名、ライブ配信視聴者延べ1,049名の参加があった。口頭発表後には、関連する研究室の公開を行い、来場者と発表者の交流を図った。

2020年9月10日（木）

<基調講演>

「5Gのインパクトと中小企業にとってのビジネスチャンス」

株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO

藤原 洋 氏

<海外展開特別セミナー>

「経験から学ぶ海外規格対応と知財戦略」

講師

東京都立産業技術研究センター MTEP 専門相談員 石井 満

東京都立産業技術研究センター MTEP 専門相談員 生島 博

講演内容

- ・海外規格対応について
- ・知的財産戦略について
- ・質疑応答および意見交換
- ・広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）事業紹介

<安全・安心>研修室 241

題 目	所 属	発表者名
三次元デジタイザを用いた耐久性試験結果評価方法の提案	3Dものづくりセクター	木暮尊志
レーザー焼結によるAM造形物の絶縁特性評価・解析	電気電子技術グループ	新井宏章
カラフルなトレーニング場で、色や音を楽しみながら操作を学ぶ車いす楽器の開発	電気電子技術グループ	長谷川孝
任意の2帯域に吸収特性を持つ2層電波吸収体の開発	電子・機械グループ	小畑 輝
災害危険度を考慮した避難経路の導出	情報技術グループ	吉次なぎ
豪雨災害警戒モニタリングシステムの開発	デザイン技術グループ	森 豊史
e テキスタイルを用いた鋼構造物用き裂検知手法	複合素材開発セクター	窪寺健吾
ナットを用いないねじ締結体における嵌合部ひずみ伝播挙動の可視化	城東支所	櫻庭健一郎

## 2020年度 年報

### <障害者スポーツ>研修室 242

題 目	所 属	発表者名
子ども用6輪歩行器の開発	電子・機械グループ	西川康博
さわれるスポーツ観戦～Tangible Sports～	プロジェクト企画室	島田茂伸

### <機能性材料>研修室 242

題 目	所 属	発表者名
Ni 担持 12CaO・7Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ハニカム型触媒の作製とメタン分解反応への応用	先端材料開発セクター	染川正一
電子不足ホウ素を有する新規アクセプター材料の開発	先端材料開発セクター	三柴健太郎
高温安定型β-リン酸三カルシウム粒子の低温液相合成	先端材料開発セクター	小西敏功
高周波誘電加熱を利用した接合技術の開発	埼玉県産業技術総合センター	焼田裕之
ニット基材を用いた熱硬化性樹脂複合材料の開発	複合素材開発セクター	唐木由祐

### <ものづくり要素技術>会議室 243

題 目	所 属	発表者名
CVD ダイヤモンドの研磨技術の開発	城南支所	平野康之
現場環境における三次元測定機のレーザー干渉測長器を用いた温度補正の評価	電子・機械グループ	大西 徹
ステンレス鋼板の絞り加工における硬質膜上での加工油の作用機構	機械技術グループ	中村健太
Ni 基超耐熱合金のポケット加工時の工具寿命の延長法の検討	機械技術グループ	國枝泰博
金属積層造形における小径穴造形技術の開発	3D ものづくりセクター	千葉浩行
重力天体への着陸衝撃吸収用 3D 積層造形ポラス金属の開発	3D ものづくりセクター	大久保智
結晶核剤の導入による生分解性プラスチックの射出成形性の向上	表面・化学技術グループ	シュイチェン

### <ロボット>会議室 244

題 目	所 属	発表者名
安全規格に適合した自走式案内ロボット Libra の実現	ロボット開発セクター	武田有志
自律移動・人追従ロボットを活用した搬送システムの構築	ロボット開発セクター	益田俊樹
大規模施設の業務に特化した掃除ロボットの開発	プロジェクト事業化推進室	佐藤 研
Deep learning を用いた頭部動作推定に基づくカメラ制御	東京都立産業技術高等専門学校	源 雅彦
パートナーロボットのデザイン開発	東京都立産業技術大学院大学	内山 純

### <環境・エネルギー>研修室 244

題 目	所 属	発表者名
エタノール雰囲気中における DLC 膜の超低摩擦化現象に関する研究	表面・化学技術グループ	齋藤庸賀
機械的な物性に優れる天然材料由来のポリアミド複合材料の開発	城南支所	井上 潤
酵素を担持する有機金属構造体の結晶子サイズ制御による酵素活性向上	3D ものづくりセクター	木下真梨子

### <IoT>交流室

題 目	所 属	発表者名
生産工程におけるばらつき可視化による品質改善	電子・機械グループ	中川善継

題 目	所 属	発表者名
IoT 技術を活用した机・椅子の稼働状況・位置の見える化！	電子・機械グループ	仲村将司
東京都多摩地域における野生動物の密度分布	東京都農林総合研究センター	新井一司
IoT による LiB 組電池の不具合の事前検知と未然防止対策	(株)EVTD 研究所	小池哲夫
画像解析技術を用いて設備監視を IoT で効率化	エヌエスティ・グローバル スト(株)	森田真祐
	IoT 開発セクター	浜口忠彦
環境モニタリングを用いた水質改善装置運用の最適化	イービストレード(株)	清水雅之
	IoT 開発セクター	根本裕太郎
IoT を活用したカカオ豆需要予測システム開発	Dari K (株)	伊藤元規
	IoT 開発セクター	佐藤 樹
洋菓子専門店向け「接客システム」の開発及び製品化	(株)アニー	石井将彦
	IoT 開発セクター	綾部豊樹

2020年9月11日(金)

## ＜基調講演＞

「化粧品業界の現状とリポソーム美容液の開発  
～27年間売れ続けている超ロングセラー商品開発の秘密～」  
元株式会社コーセー顧問  
内藤 昇 氏

## ＜海外展開特別セミナー＞

「ASEAN（特にベトナム・タイ）における新型コロナウイルスの  
現地経済および日本企業への影響」  
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 アジア大洋州課  
課長代理 北嶋 誠士 氏  
「都産技研バンコク支所からの中継」

## ＜安全・安心＞研修室 241

題 目	所 属	発表者名
立体物への低エネルギー電子線の均一照射法の開発	環境技術グループ	片岡憲昭
空調機ドレンパンにおける遠隔点検技術の有効性	バイオ応用技術グループ	小沼ルミ
ニューラルネットワークを活用した原子間力顕微鏡における自動計測手法の開発	情報技術グループ	上田啓市
推定値の信頼度を考慮したソフトセンサの開発	情報技術グループ	鈴木 聡
深層ニューラルネットワークによる多変量時系列解析	情報技術グループ	三木大輔
平易な記述が可能な秘匿DBクエリシステムの設計と実装	(国研)産業技術総合研究所	石田祐介
プライバシー保護が可能な深層学習方法の開発	情報技術グループ	大平倫宏

## ＜機能性材料＞研修室 242

題 目	所 属	発表者名
境界要素法を用いた非通気性膜材料の遮音性能予測	光音技術グループ	西沢啓子
有機分子内包ナノポーラスシリカを使用した蛍光材料の開発	バイオ応用技術グループ	林 孝星
分光型耐光性試験による高分子材料評価	表面・化学技術グループ	濱野智子
薄膜材料のリアルタイム変形計測システムの開発	光音技術グループ	平 健吾
低真空 SEM 観察におけるオスミウムコートの有効性	メイワフォーシス(株)	佐藤良樹
ガラスコーティング剤ハドラスの用途展開と産学連携開発	ヤマモトホールディングス (株)	小田原玄樹

## ＜生活技術・ヘルスケア＞研修室 243

題 目	所 属	発表者名
筋電位による生活動作アシストウェアの機能検証方法の開発	生活技術開発セクター	大島浩幸
動作する人体のデジタルアーカイブ：3D スキャンによる人体形状データを動作計測データと統合	生活技術開発セクター	後濱龍太
パターン投影式の三次元デジタイザによる人体形状測定	生活技術開発セクター	石堂 均
コンピュータシミュレーションと生成モデルを組み合わせた自動設計手法	生活技術開発セクター	山口隆志
タンパク質凝集疾患病態解析におけるレーザーマイクロダイセクション法の有効性	バイオ応用技術グループ	八谷如美
ポリビニルアルコールを母材とした胆管ドレナージ用自己拡張型ハイドロゲルステンツの開発	バイオ応用技術グループ	永川榮泰
疑似体液中でのマグネシウム合金の選択溶出特性	城南支所	湯川泰之

## ＜環境・エネルギー＞研修室 244

題 目	所 属	発表者名
局在表面プラズモン共鳴 (LSPR) による二酸化硫黄の検出	3D ものづくりセクター	瀧本悠貴
複層ガラス再資源化における安全性確保のための発生ガス評価手法の検討	環境技術グループ	平井和彦
Low-E ガラスからのガラス回収技術の開発	生活技術開発セクター	亀崎 悠
溶剤を用いた熱可塑性 CFRP のリサイクル	埼玉県産業技術総合センター	坂本大輔
ニトロアレン定量分析のための蛍光増強装置の開発	城南支所	藤巻康人
連続流れ分析装置 (CFA) を用いた、排水中のほう素常時連続モニタリング装置の開発	ビーエルテック(株)	西村 崇
電気分解用導電性ダイヤモンドを高効率かつ安定品質で供給出来る革新的な成膜プロセスの開発	千葉県産業支援技術研究所	近間真澄
太陽電池の発電性能評価と各種光学測定	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	斎藤英純

## ＜計量計測＞交流室

題 目	所 属	発表者名
耐電圧試験装置の校正における遮断電流の評価	実証試験セクター	倉持幸佑
抵抗測定における不確かさ評価システムの開発	実証試験セクター	佐々木正史
真円度校正における不確かさ推定	実証試験セクター	中西正一
熱電対校正の試験所間比較について その2	群馬県立産業技術センター	町田晃平

## 6.1.2 施設公開

都産技研の主要施設、設備を中小企業および都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図ることを目的に各事業所で施設公開を開催している。

2020 年度の施設公開は、墨田支所と城南支所のみオンラインにより開催した。墨田支所は「スミファ」に参加し、城南支所は「第 10 回おた研究開発フェア」と同時開催した。

事業所	公開日	日数	ページビュー
墨田支所 生活技術開発セクター	2020年11月20日(金)～21日(土)	2日間	56
城南支所	2020年10月22日(木)～23日(金)	2日間	486

## (1) 本部

2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を前提に、例年実施している INNOVESTA! の非開催を決定した。

## (2) 城東支所

例年城東支所施設公開と同時開催している葛飾区産業フェアがオンライン開催となり、支援機関は出展しない方針となったため、非開催。

## (3) 墨田支所 生活技術開発セクター

## 1) オンライン開催

- ・墨田支所事業紹介動画の公開
- ・墨田支所の試験設備の 360 度 VR 映像を公開

## 2) 同時開催

第 9 回スミファ（オンライン）

主催：スミファ実行委員会（11 月 21・22 日開催。都産技研は 21 日のみ参加）

共催：墨田区

## (4) 城南支所

## 1) オンライン開催

- ・城南支所事業紹介動画の公開
- ・透明バイオリンの製作動画の公開

## 2) 第 10 回おおた研究・開発フェア ONLINE

主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

## (5) 多摩テクノプラザ

例年ファミリーデーと同時開催している産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーおよびビジネスデーと同時開催のたま工業交流展がコロナウイルスの影響で中止となったため、非開催。

**6.1.3 産業交流展**

産業交流展は、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に事業所を有する中小企業などの優れた技術や製品を、分野を越えて一堂に展示する首都圏最大規模の見本市であり、国内外への販路開拓による受発注の拡大、情報収集・情報交換などを促進することを目的とする展示会である。2020 年度は初のオンライン（ヴァーチャル）開催となった。都産技研は実行委員会の一員として企画運営に参画するとともに、出展を行った。

開催期間：2021 年 1 月 20 日（水）～2 月 19 日（金）

主 催：産業交流展 2020 実行委員会

出展内容：首都圏テクノネットワークゾーン

事業および研究・支援事例紹介、製品開発支援ラボ入居企業 2 社出展

TKF、つくば市ほか連携機関の出展

次世代ロボットゾーン

ロボット産業活性化事業の紹介

## 6.2 都産技研 100 周年記念事業

### 6.2.1 事業立ち上げ

1) 2021 年 11 月に設立 100 周年を迎えるにあたり、設立 100 周年記念事業プロジェクト実行委員会を立ち上げ、100 周年記念事業の計画および準備を実施した。

2) 5 つのワーキンググループ(WG)をつくり、連携しながら事業を推進  
理事長直下に統括実行委員会を組織し、実務を担当する 5 つの WG を組織した。

5 つの WG では、主に以下の業務を計画・遂行する役割を持つ。

- ・ 記念誌 WG：100 年の歴史をまとめた記念誌発行
- ・ ビジョン・ロゴ WG：都産技研の未来に向けたビジョンを策定、100 ロゴの活用
- ・ 資料整理 WG：過去の貴重な資料の整理
- ・ 記念式典・展示 WG：100 周年記念式典の企画・運営、100 周年記念事業の PR
- ・ Web・動画 WG：100 年の歩みを紹介する展示の企画・運営、ウェブサイトの制作・管理

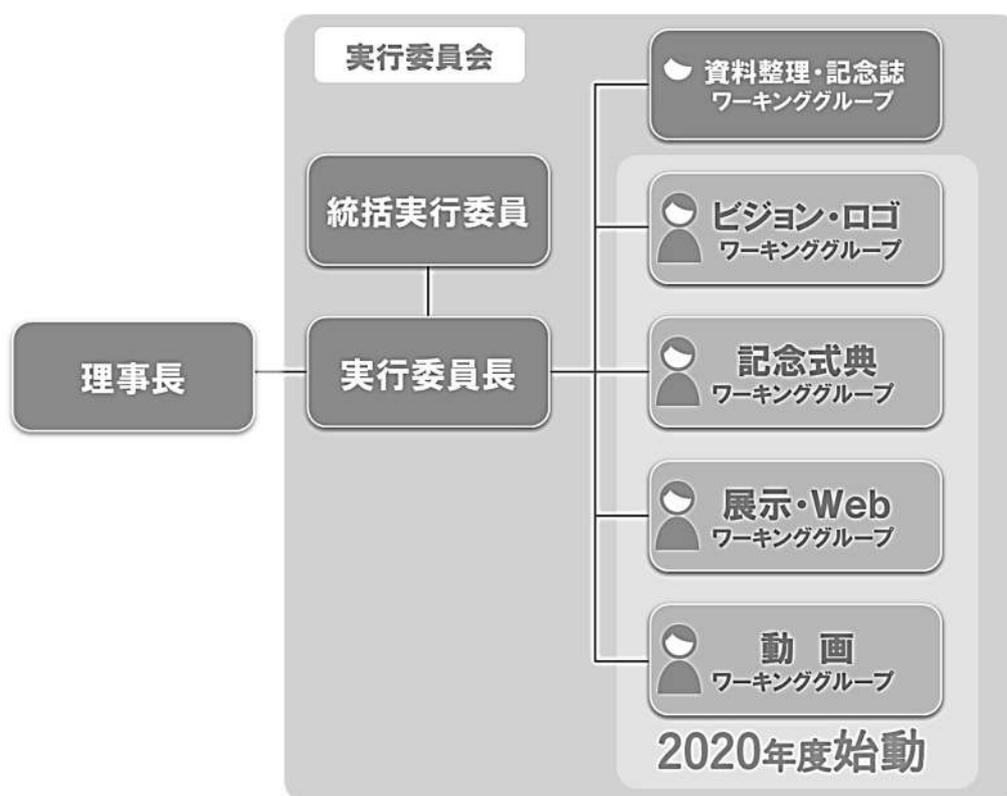


図 100 周年記念事業実行委員会 運営組織図 (2020 年度)

100 周年記念事業プロジェクト実行委員会のメンバーは以下の表に示す通りである。

表 100 周年記念事業プロジェクト実行委員会メンバー (2020 年度)

統括実行委員会		
顧問	鈴木雅洋	
委員長	大久保一宏	開発企画室長
	沼尻治彦	実証試験セクター
	秦 由梨加	経営企画室
	淡路和江	総務課
記念誌 WG		

WG 長	沼尻治彦	実証試験セクター
	中村健太	機械技術グループ
	新井宏章	電気電子技術グループ
	平井和彦	環境技術グループ
	佐々木美樹	財務会計課
ビジョン・ロゴ WG		
WG 長	福田良司	機械技術グループ
	中村健太	機械技術グループ
	池田紗織	複合素材開発セクター
	中村佳雅	ロボット開発セクター
資料整理 WG		
WG 長	内田 聡	交流連携室
	上野武司	電気電子技術グループ
	水元和成	総合支援課
	竹村昌太	表面・化学技術グループ
	平井和彦	環境技術グループ
	西沢啓子	光音技術グループ
記念式典・展示 WG		
WG 長	島田茂伸	プロジェクト企画室
	木暮尊志	3D ものづくりセクター
	高橋俊也	電子・機械グループ
	小林祐介	経営企画室
	森 豊史	デザイン技術グループ
	井上 潤	城南支所
	田原佑介	環境安全管理室
	亀崎 悠	生活技術開発セクター
	廣野晃代	技術経営支援室
Web・動画 WG		
WG 長	水元和成	総合支援課
	櫻庭健一郎	城東支所
	阿部真也	IoT 開発セクター
	畑山博哉	バイオ応用技術グループ
	小西敏功	先端開発セクター
	上田啓市	情報技術グループ

### 3) 100 周年記念事業コンセプトの立案「変わる産業 変わらない使命」

府立東京商工奨励館が誕生した 1921 年（大正 10 年）から 100 年。科学技術は進化し続ける一方、「中小企業を科学技術で支援する」という使命は、誕生の時から変わっていない。この使命を胸に「頼りになる都産技研」であり続けたいという想いを込めて、「変わる産業 変わらない使命」という 100 周年記念事業のコンセプトを策定した。

### 4) 所内公募により、100 周年記念ロゴマーク「100 ロゴ」のデザイン決定（9/1）

100 周年記念事業コンセプト「変わる産業 変わらない使命」を表現するデザインを所内公募し、全 33 作品の中から職員投票による一次審査、役員による二次審査を経て決定した。開発企画室による類似商標のプレ調査および特許事務所での調査の結果、使用に問題ないと判断された。

「100 ロゴ」は 2020 年 10 月 15 日～2022 年 3 月 31 日までの間、100 周年を PR するため

に、各種刊行物（TIRI NEWS、100周年記念誌など）、ウェブサイト、名刺、ノベルティなどの媒体で使用する。



図 100周年記念ロゴマーク（100ロゴ）

開発者：開発第三部 デザイン技術グループ 角坂 麗子 研究員

デザインに込めた想い：「1」を人に見立て、産業に努める様(さま)を表しており、府立東京商工奨励館から産業振興に尽力してきた都産技研の「時代は変わっても、果たすべき使命は変わらない」決意が込められています。

5) ロゴマニュアル等を整備し、使用開始（10/15）

「100 ロゴ」の使用開始にあたり、ロゴマークの使い方注意事項やバリエーションなどをまとめ、使用例を加えた「100 ロゴマニュアル」を作成した。さらに、「100 ロゴ」を入れてデザインした名刺や発表スライドなどのデータを整備し、10月15日より全所で使用を開始した。

6) 100周年記念特設ウェブサイトを公開（10/15）

10月15日にプレス発表と同時に、「100周年記念特設ウェブサイト」を公開した。ウェブサイトは「トップページ」「100周年にあたって」「100年の軌跡」「ゆかりの人」「TIRIのこれから」「記念イベント」「情報発信」の計7ページから構成された。



図 100周年記念特設ウェブサイト

## 7) 所内向け情報発信「THE 100PJ TIMES」を計9回発行

都産技研の100周年記念事業の取り組みを”見える化”し、実行委員会や各WGの活動状況、100周年関連のコラム、各種告知記事など具体的な内容を職員に伝えるため、「THE 100 PJ TIMES (ザ・100プロタイムズ)」を統括実行委員会が不定期で発行し、2020年度内は計9回発行した。

100th Anniversary Newsletter  
THE 100PJ TIMES No.1  
【明日のくらしと産業を支えるために】  
2020年3月25日 都産技研 設立100周年記念事業プロジェクト実行委員会 発行

### 2020年度に100プロ本格始動！ THE 100PJ TIMESの発行にあたって

都産技研は、2021年に設立100周年を迎えます。始まりは1921年10月、大正時代に設立された府立東京職工奨励館であり、時代は変わってもミッションの基本は今と変わりません。その後4つの試験研究機関が順次統合され今日の姿があります。100年に一度のこの機会に、法人としてさまざまな記念事業に取り組みます。準備として既に『都産技研 設立100周年記念事業プロジェクト（通称“100プロ”）実行委員会』を立ち上げました。100プロ実行委員長を大久保聖長、資料整理・記念誌作成WG長を沼尻上原研究員が務め、淡路副主任、栗主事、中村（健）主任研究員、平井副主任研究員らが関わっています。

間もなく始まる来年度には、魅力ある100プロ本格始動に向けて、新たなWGの立ち上げも計画しています。そのための委員を各部署から1名ずつ募集します。我こそはと思う方は積極的な手を挙げて副議長にアピールしてください。100周年を皆で盛り上げ、後援に凭る『頼りになる都産技研』につなげましょう。100プロ実行委員会 顧問 鈴木 洋洋

本紙「THE 100 PJ TIMES (ザ・100プロタイムズ)」では、引き続き、100プロの取り組みを情報提供していきます。

### 100プロWGの仲間を募集します！

100プロでは、2019年5月の発足時から、記念事業全般にわたり業務を機軸としてきました。記念式典や記念誌の発行など、直接的に「100周年」に関わる事業ばかりでなく、100周年を契機として、新たに開始する事業も検討しています。現在、鈴木顧問以下7名で主に活動していますが、2020年度からは、各所属から代表の方を選出いただき、事業ごとにWGをつくるとともに、都産技研の全職員が何らかの形で関わっていただきながら事業を進めていく予定です。職員のお持ちのアイデアを融合し、職員全員でより良い事業にできればと考えていますので、ぜひとも積極的な協力・参加をお願いします。

各ワーキングには、ワーキンググループ長(管理職)を配置予定

【編集・発行人】  
100プロ実行委員会

地方独立行政法人  
東京都立産業技術研究センター  
Tokyo Institute of Industrial Science and Technology

図 「THE 100PJ TIMES」No.1

## 6.3 見学

都内の中小企業、商工関連業界、学校、自治体などからの要望に応じて、見学・視察を受け入れた。都産技研の役割および各種事業や研究成果、機器などを紹介し、知名度向上と産業技術の普及に努めている。

2020年度施設見学受け入れ件数・見学者数

庁舎	本部	城東	墨田	城南	多摩テクノプラザ	合計
件数(件)	19	0	3	0	4	26
見学者数(名)	176	0	8	0	38	222

## 6.4 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用などの事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

## (1) 東京都・区市関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	第10回おおた研究・開発フェア ONLINE	大田区、(公財)大田区産業振興協会	10月22～23日	オンライン	透明バイオリンの製作(設計、光造形型3Dプリンターによる部品等の製作、組立作業、演奏)を紹介
2	ものづくり・匠の技の祭典 2020 オンラインイベント	東京都	11月 3～4日	オンライン	都産技研の事業紹介、YouTubeチャンネルの紹介
3	第24回いたばし産業見本市 Online	(公財)板橋区産業振興公社、板橋区、いたばし産業見本市実行委員会	11月12～18日	オンライン	都産技研の事業紹介、共同研究事例紹介、SUSCAREの紹介、100周年記念事業の紹介
4	第7回町工場見本市	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部	2月 9～10日	東京国際フォーラム	都産技研の事業紹介、城東支所の事業紹介、城東支所の活用事例集の配布

## (2) 金融機関関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	第21回 ビジネスフェア Online	西武信用金庫	11月 6日～3月31日	オンライン	都産技研の事業紹介、車載機器向け EMC 試験サービスの紹介、複合素材開発セクターの紹介

## (3) 民間団体その他

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	BioJapan 2020	(株)JTB コミュニケーションデザイン ほか	10月14～16日	パシフィコ横浜	都産技研の事業紹介、SUSCAREの紹介、バイオ応用技術グループの紹介
2	CEATEC 2020 ONLINE	CEATEC 実施協議会	10月20～23日	オンライン	都産技研の事業紹介、プロジェクト事業の紹介、プロジェクト事業の成果紹介
3	ET & IoT Digital 2020	(一社)組込みシステム技術協会	11月16日～12月18日	オンライン	中小企業へのIoT化支援事業紹介および公募型共同研究の成果紹介
4	エコプロ Online 2020	日本経済新聞社、(一社)サステナブル経営推進機構	11月25～28日	オンライン	都産技研の事業紹介、プラスチック代替素材開発プロジェクト事業の紹介

## 6.5 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報の発信機能を果たし、中小企業などへの技術情報提供に貢献している。研究発表の要旨を記載した「技術シーズ集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種冊子およびリーフレットを発行した。

### 6.5.1 冊子

2020年度に発行した冊子は以下のとおりである。

登録番号	タイトル	発行年月	部数（増刷含む）
都産技 2020-1	事業案内冊子【改訂】	2020年 4月	3,000
都産技 2020-3	2019年都産技研の利用に関する調査アウトカム評価報告書	2020年 4月	200
都産技 2020-7	実証試験セクター 依頼試験・機器利用ハンドブック 第3版	2020年 7月	1,500
都産技 2020-2	2019年度年報	2020年 9月	400
都産技 2020-4	2020年度技術シーズ集	2020年 9月	2,000
都産技 2020-8	ロボット産業活性化事業 共同研究開発ロボット紹介【改訂】	2020年 9月	3,000
都産技 2020-9	ヘルスケア分野の技術支援サービスハンドブック 第10版	2020年 10月	200
都産技 2020-10	城東支所活用事例集 2020年度版	2020年 12月	1,000
都産技 2020-11	採用案内	2020年 12月	400
都産技 2020-15	ヘルスケア分野の技術支援 サービスハンドブック 第11版	2021年 1月	200
都産技 2020-12	2019年度 東京都異業種交流グループ 活動報告&会員名簿	2021年 3月	400
都産技 2020-13	2020年度 東京都異業種交流グループ 交流カルテ	2021年 3月	50
都産技 2020-14	2020年度版 都産技研 MTEP 活用事例集	2021年 3月	1,000
都産技 2020-17	2020年度 都産技研活用事例集	2021年 3月	2,000
都産技 2020-18	都内中小企業の技術支援ニーズに関するアンケート調査	2021年 3月	150
都産技 2020-19	「ロボット産業活性化事業」終了報告書 ダイジェスト版	2021年 3月	500
都産技 2020-20	「ロボット産業活性化事業」終了報告書 詳細版	2021年 3月	ウェブサイト 発行
都産技 2020-21	「中小企業のIoT化支援事業」中間報告書 ダイジェスト版	2021年 3月	500
都産技 2020-22	「中小企業のIoT化支援事業」中間報告書 詳細版	2021年 3月	ウェブサイト 発行
都産技 2020-23	航空機産業参入支援事業 2020年度「航空機産業参入支援事業」成果報告書	2021年 3月	100
都産技 2020-24	「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」事業紹介リーフレット	2021年 3月	3,000

※都産技 2020-5、都産技 2020-6、都産技 2020-16 は欠番

(発行年月順)

### 6.5.2 年報

前年度に実施した試験・研究・調査の成果や普及・技術移転業務の実績などを公開・報告するために2019年度の年報を発行した。

### 6.5.3 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を目的に発行する技術情報誌である。A4判、12ページ、カラー印刷で、毎月約4,000部を発行している。中小企業および各関係機関719件（2021年3月号）へ送付したほか、各種展示会やイベント、施設見学者などに配布した。また、ウェブサイトには、ウェブブックおよびPDF資料として掲載している。

2020年度は、2019年度に引き続き写真やグラフィックを多く掲載し読みやすい誌面作りに取り組んだほか、都産技研本部1階北側エレベーター前に新設した展示コーナーにて当月号の告知、および過去のTIRI NEWSからピックアップした記事を実際の商品とともに展示し、TIRI NEWSのさらなる普及に努めた。

## 6.6 都産技研ウェブサイト

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。2020年度は以下の取り組みを行った。

#### (1) 外部サイト運用見直し（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ）

運用体制を見直し、迅速な情報提供の観点から首都圏テクノナレッジ・フリーウェイのサイトについて、都産技研ウェブサイト内にコンテンツの再構築を行い、別ドメインでの情報提供を終了した。

首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ URL <https://www.iri-tokyo.jp/site/tkf/>

#### (2) 動画コンテンツの拡充

ウェブサイトへの動画掲載のために、動画配信サイトYouTubeを使用している。

チャンネル名 都産技研チャンネル

チャンネルURL <https://www.youtube.com/c/TIRICHANNEL/>

チャンネル登録者数 2,382名 ※2021年3月31日時点

2020年度は、54件の動画を新規に公開した。

- ・都産技研 「BioJapan」 出展
- ・都産技研 「IFFT インテリアライフスタイルリビング」 出展
- ・都産技研 「ワイヤレス・テクノロジー・パーク」 出展
- ・都産技研 2019 活用事例集「お客さまインタビュー」1
- ・都産技研 2019 活用事例集「お客さまインタビュー」2
- ・都産技研 技術相談ご利用ガイド
- ・都産技研 実証試験で製品開発を支援【環境試験室リニューアル】
- ・都産技研 実証試験で製品開発を支援【環境試験室の紹介】
- ・都産技研 恒温恒湿室[実証試験S]の紹介
- ・都産技研 ハイパー恒温恒湿槽[実証試験S]の紹介
- ・都産技研 恒温恒湿槽[実証試験S]の紹介
- ・都産技研 冷熱衝撃試験機[実証試験S]の紹介
- ・都産技研 減圧恒温槽[実証試験S]の紹介
- ・都産技研 静電気障害試験機[実証試験S]の紹介

- ・都産技研 雷サージ試験器[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 ファストトランジェントバースト試験機[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 耐電圧試験器[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 高調波・フリッカ試験器[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 瞬時停電試験器[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 振動試験機・恒温振動試験機[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 落下衝撃試験機[実証試験 S]の紹介
- ・都産技研 非常用 Mg 空気電池の共同開発（共同研究 事例紹介）
- ・都産技研 城南支所 主要設備の紹介（大田区南蒲田）
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業 共同開発研究
- ・都産技研 共同研究開発ロボットのご紹介
- ・都産技研 サービスロボット社会実装
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業 ソリューション研究
- ・都産技研 事業案内
- ・都産技研 中小企業の 5G・IoT・ロボット普及促進事業
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業 共同開発研究
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業
- ・都産技研 社会実装のための実証実験
- ・都産技研 清掃ロボットの開発
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業 ソリューション研究
- ・都産技研 共同研究開発ロボットの紹介
- ・都産技研 開発ロボットのご紹介
- ・都産技研 中小企業の IoT 化支援事業 AI 活用実証型研究・広域実証型研究
- ・都産技研 ロボット技術紹介
- ・都産技研 墨田支所 事業案内
- ・都産技研 墨田支所 日射環境試験装置
- ・都産技研 墨田支所 引張試験機
- ・都産技研 墨田支所 衣服圧測定装置
- ・都産技研 墨田支所 におい分析システム
- ・都産技研 墨田支所 シート型圧力分布測定器
- ・都産技研 IoT テストベッドのご紹介
- ・都産技研 デザイン×ものづくり 城東支所の紹介
- ・都産技研 バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業
- ・都産技研 EMC サイト[多摩テクノプラザ]のご案内
- ・都産技研 繊維製品の染色[多摩テクノプラザ]
- ・都産技研 織物ができるまで[多摩テクノプラザ]
- ・都産技研 ニットができるまで[多摩テクノプラザ]
- ・都産技研 CFRP 関連装置[多摩テクノプラザ]の紹介

なお、都産技研が所有しているドメインは以下のとおりである。

- ・ 東京都立産業技術研究センター URL <https://www.iri-tokyo.jp/>
- ・ DHuLE (デューレ) URL <https://www.dhule.jp/>
- ・ ロボット産業活性化事業 URL <https://tiri-robot.jp/>
- ・ サービスロボット事業化交流会 URL <https://robotkoryu.tiri-robot.jp/>
- ・ 中小企業の IoT 化支援事業 URL <https://iot.iri-tokyo.jp/>
- ・ バイオ応用技術を活用したヘルスケア産業支援事業 URL <https://suscare.iri-tokyo.jp/>

## 6.7 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週 1 回程度配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

配 信 数 : 約 11,000 回 ※2021 年 3 月 31 日時点  
発行回数 : 51 回

## 6.8 マスコミ報道

2020 年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

### (1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	7 月 14 日	都産技研主催 中小企業と技術の出会いの場 TIRI クロスミーティング 2020 開催
2	8 月 18 日	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターに勤務する職員の新型コロナウイルス感染について
3	8 月 25 日	障害者スポーツ研究開発推進事業公募型共同研究募集のご案内
4	8 月 25 日	中小企業への IoT 化支援事業公募型共同研究募集のご案内
5	9 月 15 日	警備ロボットや運搬・清掃ロボットを「羽田イノベーションシティ」で展示・実演
6	9 月 16 日	化粧品などのヘルスケア製品開発を支援 ヘルスケア産業支援室開設記念講演会」の開催
7	10 月 1 日	肌の「しわ」や「はり喪失」の原因物質に関する化粧品の有効成分の依頼試験を開始
8	10 月 14 日	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターに勤務する職員の新型コロナウイルス感染について
9	10 月 15 日	都産技研設立 100 周年を記念し、ロゴマークや特設サイトを公開
10	10 月 22 日	ローカル 5G・ロボット・IoT 技術を総合的に支援する「DX 推進センター」オープン
11	10 月 27 日	中小企業への IoT 化支援事業 公募型共同研究 AI による製造業の生産性向上のための解析支援ツールの開発
12	10 月 30 日	凍らせて、混ぜて、溶かすだけ 高い強度と成型性を持つ新しいゲル材料を開発 身近なバイオマス素材を利用した汎用性の高い材料開発に新展開
13	11 月 6 日	中小企業への IoT 化支援事業 公募型共同研究 IoT を活用した「健康まちなかウォークラリーシステム」MCPC award 2020 普及促進委員会特別賞を受賞
14	11 月 16 日	東京都立産業技術研究センターと大田区が協定を締結
15	11 月 24 日	障害者スポーツ研究開発推進事業 公募型共同研究募集 テーマ決定
16	12 月 24 日	中小企業への IoT 化支援事業 公募型共同研究 テーマ決定
17	12 月 24 日	中小企業の DX 推進に向けて IoT 事例集の検索システムを公開

No.	発表日	発表内容
18	2月25日	中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 「ローカル5G研究会」参加者募集
19	2月25日	中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 2021年度公募型共同研究 募集のご案内
20	2月25日	既存の化合物から1ステップで合成可能な新規機能性含ホウ素有機材料を開発
21	3月4日	東京都立産業技術研究センターと町田市が協定を締結
22	3月5日	東京都立産業技術研究センター新理事の就任について
23	3月15日	中小企業へのIoT化支援事業 公募型共同研究成果 「スマート鳥獣自動判別システム」を用いたサービス開始 AIによる獣種判別で業務効率化
24	3月24日	【共同研究成果】高容量・長期保管可能・安全性の高い非常用空気電池の販売開始

## (2) テレビ・ラジオ報道

月別のテレビ・ラジオ報道件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3

## (3) 撮影協力

月別の撮影協力件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	1	0	2	1	6	2	0	0	0	0	12

## (4) 新聞報道

月別の新聞掲載件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	2	6	9	2	7	9	13	3	8	0	13	75

## (5) 雑誌・広報誌報道

月別の雑誌・広報誌掲載件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	2	1	0	3	1	0	1	0	1	3	0	14

## (6) ウェブ報道

月別のWeb掲載件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	154	4	40	95	24	272	387	53	78	199	301	513	2,120

## 6.9 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献などを購入するとともに、2～3 ヶ月に1回程度企画展示を行い、蔵書の充実を行っている。2020年度は、平積みで保管していたデザイン関連の大型本用の書架を購入し目に付きやすい場所に設置し、図書システム外で管理していた合冊製本雑誌約4,900冊の図書システムへの登録を実施し検索性を高めるなど、来室者の利便性を向上した。

また、本部図書室は中小企業者らに公開して、調査研究活動に活用されている。外部利用者数は、延べ201名であった。図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

2020年度図書管理数

蔵書種類	本部（城東・城南を含む）	多摩テクノプラザ	墨田支所
和書（冊）	18,673	3,519	2,781
洋書（冊）	4,928	78	121
和文雑誌（種）	520	85	86
欧文雑誌（種）	41	14	10

ほかに、欧文雑誌電子ジャーナル版13誌を年間契約した。

企画展示図書の内容は以下のとおりである。

2020年度企画展示図書

月	テーマ
4月	化粧品開発
5月	
6月	
7月	第5世代移動通信システム「5G」
8月	
9月	
10月	中小企業におけるDX①
11月	付加価値の創出・向上への取り組み
12月	中小企業におけるDX②
1月	新たな「価値」を生み出す
2月	戦略としてのブランディング
3月	